

環境配慮型農業実践塾 報告書

代表取締役 道法 正徳


日時	令和3年1月29日（金） 10:00～
場所	からたち（水俣市袋地区）
参加者	管内果樹農家等 （4名）
概要	<p>【オンライン学習】</p> <p>収穫の前に、11月に予習した注意事項について復習する。</p>  <p>熊本以外の地区では、焼きが報告されている。 灌水の時期に摘果作業を行い、収穫するタイミングが早すぎたため。 未熟果で収穫すると、実の表面が陥没する。</p> <p>雪害：夜に雪が積もると痛みやすいので、実の表面に積もった雪を払っておく。</p> <p>タイベックの活用：農業用のゴアテックス。収穫後の果実の糖度をあげる。1m×100m＝1万円くらい。3%予措したら</p>

コンテナに被せる。

P プラス：二酸化炭素を出すので、腐れが少ない。
ポリ袋では、二酸化炭素が排出されない。

果実の表面には、油胞（ゆほう）というツブツブがあって収穫した時に衝撃を与えるとこの油胞が潰れてしまう。
消費者の手元に届くころ、腐れの原因となることから衝撃を押しさえるためのポイントとして「クッション」を利用する。
品質の良い商品を提供できる農家として、責任を持つ。



	先生	受講者
運搬かご	25mm のウレタンクッション（丸型） ズレないように、両面テープを貼る	未使用
コンテナ	新聞紙 2 枚 	新聞紙 0 枚
	コンテナの 7 割まで入れる	コンテナいっぱい入れる

これと前後して、「分割採集」を推奨。

同じエリアの樹であっても、枝の内側・外側・上部・下部で色づき、甘さ、サイズが異なるため、腰を基準に収穫の時期をずらし、品質の均一化を図る。

Q. 袋の中で露を持ってもいいのか？

A. 1時間に1℃の温度変化があると結露する。

す上がりな実になる。コンテナの上に新聞紙を乗せるだけで十分。

(例) 瀬戸田農協では、大量にヤキが出た果実にエチレン処理をして、食べごろとして販売している。

Q. 摘期の見分け方。

A. 消費者ではなく、農家に販売価格の決定権があれば迷わない。

Q. 糖度が高いと寒に強い？

A. 限界がある。

寒風害：果実の表面（人間に置き換えると肩のあたり）に被害が出る。

3重袋は、長期のマイナス予報の時に使用する。

Q. はるかの収穫期

A. 3月。2次肥大で径が5mm大きくなる。

4月になると、生産者の言い値で取引できる。

はるかは寒さに強いため、収穫を遅くすることができる。

Q. パール柑の収穫期

A. 2月の中～下旬。実が落下する樹は、新芽が出ていない。



こんにゃく化する実は、予措の失敗事例。
未熟な時に温度を上げると、ブヨブヨした実になる。